

2017年6月27日発行

みなさん、こんにちは

6月議会が終わりました。最近、天候の話をするにしても、異常気象や災害などにつながる話題が多いと思います。

でも、畑は5月から6月にかけて、あっという間に緑に染まりました。

海も気がつけば賑やかになっています。

町長の町政報告では畑作三品については、昨年よりも少し早い蒔き付けだということ。

また、漁業についてはマスと時鮭が数量、金額が減っているとのこと。

今後も、大きな災害がないように、安定した収量や漁獲高になりますように期待しましょう。

6月21日から3日間続いた6月議会で決まったこと、変わったこと、そして私自身が思ったことなどを交えてご報告します。

どうぞ、読んでください。



シウリザク (バラ科)



フランスギク (キク科)

道ばたなどいろいろな所に咲いていますね。外来植物ですが、知床ではいたるところで、きれいな花を咲かせています。繁殖力旺盛ですね・・・



クルマバソウ (アカネ科)

*今年5年に一度実施される北海道フラワーソンの年でした。6月17日と18日に全道一斉に咲いている花の調査などをおこないます。今年で5回目、初回から参加しています。お天気も良かったのでたくさん花を確認出来ました。今回はそれにちなんで？花のイラストを多くしました〜

町長からの報告からいくつか

●税金のことをおおまかに・町税、税以外の料金の収納状況は多くが90%を越えると言う、他の自治体から見ると、ずいぶんと高い収納率です。

そして町税と税以外を合わせた滞納総額は5399万になったそうです。かつては多い時は2億円の滞納額が問題となりましたが、こんなに減りました。が、まだまだ多いと思いましたが、2億円が全てが回収できたわけではありません。なかには「もう、回収しても無理だろう・・・」と「不能欠損」と言う形で処理されるものもあります。

●やすらぎの苑(最近テレビドラマで観ているのは「やすらぎの郷」)ではスタッフの離職が重なって勤務シフトができないために、短期入所生活介護(ショートステイ)の受け入れを7月31日まで制限されることになりました。

介護スタッフの人員不足は深刻です。最近では人材派遣会社に依頼してスタッフの確保も行われています。

介護・高齢化社会について町の取り組みがさまざまな形で始まっています。町の人たちを交えた、この高齢化社会への対応が求められています。それは、普段の暮らし方を見つめ直すことにもつながることになるかもしれませんね。

平成29年6月の議会 いろいろ



6月議会ではあまり「補正予算」（3月で決まった事業への追加や変更など）は多くはありませんでした。でも、6月の議会では毎年、国民健康保険料の算定金額が決まります。なので、もうじき、国民健康保険に加入されている方には今年度の金額納付書が届きます。

・ 生ゴミの袋に小さいサイズが加わります 生ゴミ袋のこと、ちょっと考えました。

現在使用されているゴミ袋は「生分解性」つまり時間が経てば溶けちゃうゴミ袋です。生ゴミは、堆肥になります。今までの塩ビの袋は溶けることなく途中でフルイなどにかけて取り出し、一般ゴミとして処理されます。でも、小さく粉碎されたものが堆肥に混じっていたり、一般ゴミの処理量が増えています。なので、溶ける生ゴミ袋は、堆肥化にはとても有効です。

しかし、長いこと生ゴミを入れっ放しにすると、溶けて破れます。少人数家庭では、これまでの7割でも大きくて、なかなか使い切れません。そこで、お試しモニターさんにも協力いただき小さなサイズが作られました。

□・・・で、ちょっとまた生ゴミのこと考えてみませんか？

私はこの生分解性のゴミ袋に着色することには反対なんです。溶けてしまう安全な袋を使うのに、袋が溶けても塗料は溶けません。そして塗料の多くが石油系です。できれば、余計な色など着いていないほうがいいはず。袋を作る上での印刷のコストもかかります。

黄色い色、必要でしょうか？

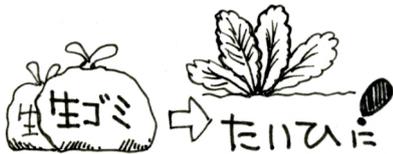
何のために？中が見えるのがイヤだから？だったら、新聞紙や紙で水切りも兼ねては？できるだけシンプルな袋のほうが、環境にも経済的にも良いはず。

余分な水分をしっかりと切って、スッキリと出しませんか？

皆さんはどう思いますか？



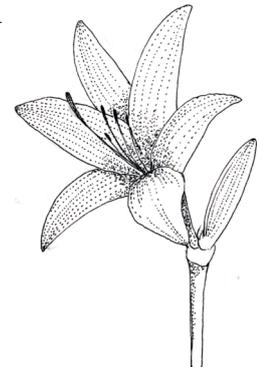
コウリントンポポ (キク科)



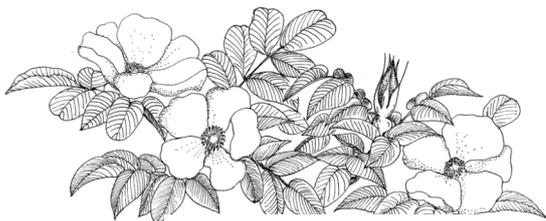
昨年から、何度か議会の場でも提案してきました。今回は担当の方も今後考慮して使う方々の意見も聞きながら対応を検討することでした。3色を塗っていた時は、製造時に袋を裁断するときに、塗料のせいで刃がこぼれるために、2色になっていますが。・・・色、必要でしょうか？

ウトロスキー場の圧雪車が新しくなります！

ウトロ学校では冬期間の体育授業にスキー学習を取り入れています。小さなスキー場ですが、冬期間は保育所へ通う子どもたちも練習に通い、地域の行事も行われます。そこで、使用する圧雪車が古くなり故障して使えないことが多くなったために新しくなりました。地域ではスキー場管理だけではなく、指導や、時にはスキー用具のメンテナンス、リサイクルで多くの子どもたちみんなが、スキーができるようにと活動しています。



エゾカンゾウ (ユリ科)



ハマナス (バラ科)

公営住宅・新光北団地3号棟の建設が始まります

平成24年度から建設が進められてきた新光北団地の住宅再生整備は今回の3号棟の7棟54戸の建設で終わります。これからは、既存の住宅の改修工事などを積極的におこなうことになるのでしょうか。メンテナンスをしっかりとおこなうことで、長く利用できる施設となります。期待したいです。

これから町が取り組まなければならないことなどについて 全員協議会の話 いろいろ

・ 役場庁舎・・・さて！どうする？

古くなっている役場庁舎では、

- ・ 耐震改修でしばらくしのぐか、
- ・ 耐震もおこない大規模に改修しようか、
- ・ 新築しようか？

と言う検討が始まっています。もちろん、それぞれの予算は大きく変わります。今回は、**とっておおざっぱな資料**だったために、これで検討はできないと言うことになりました。再度検討です。

私は、耐震改修をおこなってしばらくは、この庁舎を大事に使っていくことも良いのではないかと思います。町も耐震改修で当面は・・・との考えのようです。**が！！**、そのためには、ちょっと首を傾げなくなるこれまでの建物の維持管理のあり方にも疑問を感じています。

あまり、大事にしてこなかった、ですよ。庁舎ばかりではなく斜里町の公共施設って時間が経つと「古くてボロボロ」になっています。

「古くてもきれい」は、多くの建物に当てはまらなければならないことです。

ポスターの跡が残る壁は塗装できたでしょう。机まわりや必要な書類や什器、備品の整理整頓。小破修理も計画的にできたはずです。

それを考えたら・・・もしも新築の役場に移るのなら、現状の雑多諸々を整理整頓してからの方が・・・良いかもしれないと、思うのです。そうすると、時間も課題になります。

これから、さらに詰めて検討が始まると思います。**みなさんは、どう思われますか？**

詳しい資料ができましたら、予算の事など交えてお知らせします。



・ ふるさと納税は一旦立ち止まって様子見？

・ 返礼品の自粛が強まる中で拡大した市場がそのまま維持することはない。

・ この終わりなき返礼合戦の状態です。世論から支持されるか見きわめたい

・ 「潮目」は大きく変わって後発組の町が積極策に出るメリットは少ない

と言うような事から、一旦立ち止まり今後の情勢を見きわめるそうです。

私は、常識の範囲で町が粛々と町の物産を寄付のお礼の品として提供して、寄付をしてくれた人たちとのつながりと広がりを作っていくだけでも良いと思うのですが・・・どうやら、そもそもこうした「異常な税制度」そのものに町は反対していると強く感じました。

やらないんだなあと思います。



Howa Chakusou (ユリ科) Nirimusou (キンポウゲ科)



斜里町議会でも議会のフェイスブックを始めます～

・・・今度こそ！始まります。ひとつの情報収集手段としてぜひつながってみてくださいね。

「議会はなにやってんのか分からない！」と言う方もぜひ！情報ツールはたくさんあります。

・ **議会改革と議員研修** 今議会も、議会モニターさん始め、多くの方の傍聴がありました。また、インターネットでも多くの方が中継を見て（聴いて）くださったようです。いろいろな感想が届きました。そんな中で、「議員研修ってなにやってんの？」と聞かれます。

「政策や新しい事業の情報収集ではないの？」 前回、一般質問の質問力の研修を受けたことを書きましたら、「その研修は公費でやってんの？」という問い合わせもありました。

「議員個人のスキルアップは公費を使ってやるものではない！」とのご意見でした。

なるほど・・・と思いました。

最近「研修」が多いのですが、その内容が議会活動に、つまり議会の役割に必要なものなのか？と言うことは考えなくてはならないと思いました。

議会活動と議員活動・議会研修と議員研修

議会改革推進事業費130万円の予算が計上されています。成果を出さねば！でも成果ってなんだろう？



今回 6月の一般質問

●粗大ゴミの集積・作業場所は屋根のない野ざらし状態です雨が降っては、集められた粗大ゴミや燃えないゴミの分別作業がとても大変だと思います。ずぶ濡れで冬は雪が積もり凍り付いています。早く屋根をかけて作業環境や搬入環境を改善すべきです。

町長答弁・・簡易な屋根を念頭に、対応を検討します

●ウトロ地区の商業用地、分譲から10年経過します。今後の対応は？

販売開始時の計画どおりには進まず、残地2区画、未整備、未営業が4区画の状態が続いています。さまざまな要因から現在に至っています。これまで募集条件の変更もありましたが、それ以上の対応も協議もおこなわれていません。売買時の契約書の履行にも矛盾があります。

このゾーン全体の利用価値を当初計画のようにするために、町は商工観光の視点から、ウトロ全体の計画対応とそのため協議をおこない、なんらかの吸引力のある対策を講じていくべきだと思います。

町長答弁・・10年を迎えますので、関係者と協議をおこないます。また、残地の販売促進を継続する考えですが、商業ゾーンとして、なんらかの吸引力のある企業の誘致なども考えていかなければならないかもしれません。いずれにしても、当初の再開発商業用地としての目的を、購入者の方々にもご理解いただき、今後の協議と対応を進めていきます。



エゾタンポポ (キク科)

この土地が活用されて商業が活性化なくては・町にとっては大きな損失です!!



■議会では「一般質問」について大学の先生をお招きして研修をうけました。*かみ合わない質疑をさける*長々と演説をしない*陳情・お願いにはしない・・・
研修は継続開催される予定です。

*なんだか、お天気、ジメジメしてますね6月(..)

みなさん覚えていらっしゃいますか？ 昨年の8月はとっても雨の多い月でした。今年の6月もなんだか霧が多くさえないお天気です。ジメジメが続くと、我が家の庭にナメクジが出てくるようになりました。

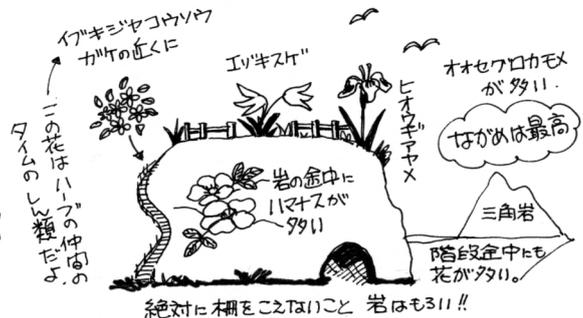
これも、気候の変化だと思います。

*観光ブランディングの推進取り組みの説明を受けました。とっても横文字が多くて、ターゲットを絞った取り組みと言うことで、今回発行されたグラフ誌「知床ブランドブック・SUSTAINABLE (さすていなぶる)」は、とてもおしやれな冊子だと思います。でも、私には(年齢的にでしようね)これが、知床の観光ブランドにどうやってつながるのかすんなりと理解できませんでした。でも、絞られたターゲットに理解される感性であれば、私が「？」なのは、今回の取り組みは正しい、とも言えます。いままでの、ベタな知床ではない魅力を若い世代が見つけ出して発信していくことを期待しています。

議会中に61歳になりました

□最近、地方の自治体の取り組みがマスコミでも紹介されるようになりました。

さて、斜里町の独自の取り組みが見えますか？ 町長の掲げる「幸せ、あったか」な方向性は個人的には好きですが・・でも、庁舎を見て愛しみが感じられず、観光客用のトイレ施設を見ても、ちょっと寂しさを感じます。立派でなくても、派手でなくてもこの町で暮らす環境に誇りを感じたいなあと、思います。ケチとつましく大切に暮らす・・は、別なものです。



ちょっと、愚痴にも近くなりました。少しでも、暮らしやすい町になるために、がんばって動きます。では、また、9月に



ツイッターとフェイスブックで情報発信しています。ブログも含めていただいたコメントにはお返事を差し上げています。そのためには、ぜひ返信ができるアドレス、お名前、連絡先をお願いします。●

文中の誤字脱字については、お許しください。校正が苦手です。あらかじめ、ごめんなさい・・・

■ ホームページみてください。 <http://akemichan.net/>
■ ブログ 「ふつう」の生活から <http://akemiburogu.sblo.jp/>
「桜井あけみ後援会」099-4351 斜里町ウトロ香川104

桜井あけみ 議会レポート
コメントを待っています。
メールは koe@akemichan.net へ